

太郎坊宮所蔵の名品⑥



香盒 (平安京大内裏大極殿ノ瓦ヲ以テ作ル)

奉祝

天皇陛下御即位



赤神山

赤神山

(あかがみやま)

赤神山とは、太郎坊大神様がお鎮まりになる近江国高天原、すなわち太郎坊山の御名です。



↑ 太郎坊宮HP ↑

太郎坊・阿賀神社宮司 奥田素之

本年五月一日、我が国は天皇陛下の御即位によって新しい時代の幕開けを迎えました。此処に聖寿の万歳と皇室の弥栄を謹んでご祈念申し上げます。

御即位に伴う改元が世間を賑わせた事は記憶に新しい所ですが、本邦に於ける元号は「大化」に始まります。大化と聞けば「大化の改新」が思い浮かぶ方も多いかと思えます。元号は、歴史の節目を示す大きな意味を持ち合わせているのです。天皇陛下御一代につき、一つの元号を用いる制度は明治に定められました。明治以前はといえば、様々な慶事に

発行日 令和元年六月三十日
題字 陸軍大将 一戸兵衛
発行者 太郎坊宮社務所
東近江市小脇町二二四七番地

応じて元号が改められたといえます。お目出度い瑞雲の出現を祝した「神護景雲」。戦国が終わり、平和な時代の到来を告げた「元和」等が挙げられます。一方で、重なる凶事を振り払うべく改元した例も数多くあります。

古典を紐解き、慎重に慎重を重ねて慶字を撰し、数文字の中に日々幸福であれかしとの一念を込める——。こうした事象を顧みると、人々は「元号」というものに自分が生きる今現在の「幸」を託したのだと思ひ至ります。

このように、日々用いる元号に寄せらる日本人の思いは、今も昔も並々ならぬものがあります。只今の元号「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められています。その思いに叶うべく世の為人の為に奉仕し、すばらしき日本となるよう努めて参りたく存じます。

社務日誌 (抄)

- 一月 歳旦祭
太郎坊宮敬神講社新春祈願祭
太郎坊宮敬神講社評議員会
どんど焼・古神札焼納祭
- 二月 節分厄除大祭
厄除招福神事
紀元祭
祈年祭
- 三月 太郎坊宮敬神講社講元役員会
太郎坊宮敬神講社
各支部単体会講社祭
平成会総会・平安隆昌祈禱
大韓民国文化院様視察来訪
国定登録有形文化財登録答申
例祭
- 四月 春季講社大祭
氏子渡御祭
日供講講社祭
昭和祭
- 五月 お田植大祭
生根神社様正式参拝
- 六月 夏越大袂式

恒例の諸祭儀を齎行しました

上半期には祈年祭や例祭、氏子渡御祭といった重儀が続きましたが、ご関係各位のお力添えによって滞りなく齎行致しました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

中でも、五月のお田植大祭は好天に恵まれ多くの参拝者をお迎え致しました。祭礼準備の段階では氏子総代・同OB会の有志による助勢を仰ぎ、御神田の整備を実施。前年の台風で損壊した鳥居の修繕や耕作域の造作変更、神田周辺の雑草始末、更に砕石敷設による域内整備まで、暑気の中を連日に亘ってご奉仕賜りました。また、ダイプラ株式会社様には、御神田の結界柵修繕に用いる用材をご奉納頂きました。更に、氏子の今宿貞和様より、お田植大祭の重要な役付けである「太田主」の装束一式をご献納頂きました。



来る令和二年五月には、お田植大祭が八〇周年を迎えます。この佳節を記念した行事の企画も進めております。

皆様には、引き続き太郎坊宮の諸神事にご助力賜ります様、お願い申し上げます。



社務雑感

およそ一カ月前、多くの方々が「平成三十一年四月三十日」そして「令和元年五月一日」の御朱印を拝受しに来られました。

感謝と奉祝の真心で迎えた御代替り。国中が、さながらお祭りのようでした。皇室と国民の深い繋がりを象徴する現象といえるのではないのでしょうか。

平成最後の三月、太郎坊宮の社殿群が「登録有形文化財」に答申されました。貴重な文化財を次代へ伝えるという責務を果たすべく、尚一層尽力して参ります。

参集殿日誌（抄）

- 一月 新春呈茶席
- 二月 滋賀県立八幡商業高等学校様
職場体験学習
フジテレビジョン様
「林修のニッポンドリル」撮影
東近江市観光協会様 主催
「東近江ちいさなたびいち」開催
三月 東近江三方よし基金様懇話会
中学生対象一泊二日ツアー
「知らない損やで！東近江市」様
四月 観桜呈茶席
産経新聞社様
「記紀が描く国の始まり」取材
五月 朝日放送テレビ様
「おはよう朝日土曜日です」撮影
中野地区まちづくり協議会様
「太郎坊さんの話のタネ」講演会
清水小脇まちづくり委員会様
みつくり山縦走ハイキング
滋賀県神社庁八日市支部様
総会
- 六月 竹中半兵衛顕彰会様

太郎坊さんに泊ろう！
「まるごと東近江」ツアー！

三月、「まるごと東近江」と題したツアーがありました。東近江市内の中学生を対象とした企画で、地域の魅力を知ってもらおうという試みです。

市内の散策などを経た後、太郎坊宮ではお守りづくりを体験。「お守りに込められた意味が初めて分かった」「自分だけのお守りが嬉しい！」と、大好評でした。そして、夜は参集殿に宿泊。話に花が咲いたのか、全く寝ない学生も…。

翌日は鈴鹿十座のひとつ竜ヶ岳の登山も体験し、東近江市をまるごと味わう二日間になったようです。

（東近江市観光協会主催、次回開催は未定）



おまもりづくり体験
受付中です

好きなデザインのお守りの袋と紐を選び、自分だけのお守りを作る「おまもりづくり」体験。

開始から半年で、約七〇〇組の方々にご体験いただきました。お守りの袋も六〇種類に増え、世界にひとつだけのお守りを作る喜びが更に広がりました。
☆体験料一五〇〇円。約三〇分でお守りをつくれます。

☆団体様での体験もできますので、チームでお揃いのお守りを作ることも可能です！



国定「登録有形文化財」への登録が答申されました

今年三月、国の文化審議会は太郎坊宮に建つ社殿や鳥居等十五件を「登録有形文化財（建造物）」に登録するよう答申しました。今回、登録が答申されたものをご紹介します。

一、本殿【宝暦三年（一七五三）】

太郎坊宮の神様を祀る社殿で、最も重要な建物です。夫婦岩を越えた先の、わずかな平地に東面して建てられています。現在の本殿は江戸時代中期に再建されたものです。外側から全容を見ることが難しいですが、建物の随所に獅子や菊花の彫刻が施されています。丁寧で装飾性も豊かな近世神社建築として評価されました。



二、参拝所【大正十三年（一九二四）】
本殿を覆い囲むように建てられている社殿です。普段、外から見えるのはこの参拝所になります。大正時代に増築された部分で、本殿と一体化した複雑な構造を形成しています。



三、舞台【明治十三年（一八八〇）】

本殿の前に設けられているのが、舞台です。京都・清水の舞台と同じ「懸造り」という工法で建てられています。基礎の柱は全て急傾斜の岩場に据えられており、優れた建築技術が用いられている点などが評価されました。



四、授与所【明治時代中期】
舞台端に付置し、参拝者に神札等を授けるために設けられた建物です。



五、拜殿【江戸時代末期】

六、神楽殿【明治時代中期】
拜殿（下写真）は夫婦岩の下に建つ建物です。重要な神事儀式を行うための社殿です。

拜殿の背面には、神楽殿が建ちます。拜殿同様、重要な神事儀式を行う際に用いられます。それぞれ江戸期、明治期の建築と推定されています。



七、永安殿【明治四〇年（一九〇七）】
拜殿南側の下に建つ永安殿は、旧社務所兼神楽の演奏所として設けられました。



八、長楽殿【昭和五年（一九三〇）】
永安殿南側の下に建つ集会施設です。講堂としても用いられました。精巧な細工の唐破風玄関を設け、永安殿へ渡る空中階段が付属します。



九、祭籠庫【昭和十三年（一九三八）】
神事や儀式に用いる道具を納める場所です。



十、手水舎
【明治四十四年（一九二一）】
神様へ参拝する前に、自分の身や心を清めるための場所です。



十一、銅鳥居
【昭和三十二年（一九五七）】
夫婦岩の入口に建立された鳥居で、板金加工を施された珍しいものです。



十二、絵馬殿
【大正十四年（一九二四）】
奉納された絵画額類を掲出するための建物です。文化財保存修理の権威だった岸熊吉氏の設計監修による社殿です。



十三、不動明王拜所
【昭和五年（一九三〇）】
不動明王の祠前に建つ、総花崗岩造りの拜所です。大棟



や鬼瓦等の細部も花崗岩で精巧に作られており、高度な石工技術を見せています。

十四、中門【昭和九年（一九三四）】
山麓からの石階段途中に建つ結界門です。全て花崗岩で造られており、随所に見られる高い石工技術が評価されました。中でも屋根は美しい反りを作り出しています。



十五、一の鳥居
【明治二十七年（一八九四）】
八風街道沿いにある参道入口に建つ明神鳥居形式の鳥居です。北に延びる参道の先には赤神山がそびえ、神社の入口を象徴しています。参道景観を彩る大鳥居として、参拝者の方々にも親しまれています。



—皇位の御徴・三種神器を祀る
熱田神宮参拝と三谷温泉宿泊—

日程 令和元年十月十五日〜十六日
宿泊 三谷温泉・明山荘
会費 一泊二日 二万八千円

◆旅程のご案内

熱田神宮—正式参拝—

織田信長が崇敬を寄せたことでも知られる東海随一の大社です。皇位継承の徴となる三種神器の一つ「草薙剣」が祀られています。

正式参拝後には、国宝や重要文化財を含む数多くの文化財を拜観します。

◆その他の旅程

・砥鹿神社参拝

・三河湾国定公園散策

※一般の方のご参加も歓迎です。ご希望の方には、表をお届け致します。



詳しい旅程

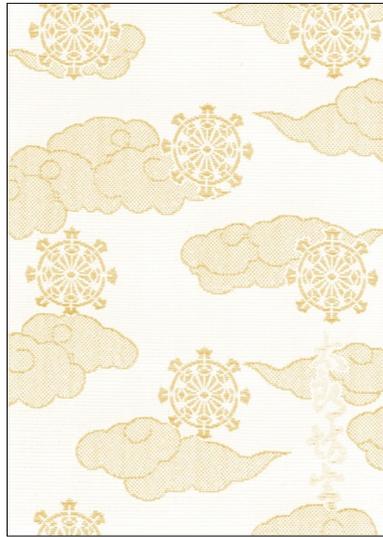
新しい授与品のご紹介

◆太郎坊金襴(朱印帳)

(御朱印料含む) 一〇〇〇円

純白の布地に金糸で太郎坊宮の神様の御紋「輪宝」と瑞雲を織り出した、特別なご朱印帳です。

※七月末頃より、授与を開始します。



◆市松柄勝守

各色一〇〇〇円

モダンな市松模様が人気の勝守。新しく、明るいパステルカラー仕立てが加わりました。勝利の栄光を求める方に。



◆お仕事守

各色一〇〇〇円

仕事運の向上を祈願したお守りです。新しく赤と白の二色で詠えました。お財布などにも入れやすい、カードタイプのお守りです。



表紙解説

今号表紙には「香盒(平安京大内裏大極殿ノ瓦ヲ以テ作ル)」を取り上げました。香盒とは、御香を収納する容器を言います。本品は、京都市街地整備工事の折に出土した平安京大極殿瓦の残欠片を加工したものです(大極殿とは、天皇陛下の即位礼を始めとする国家儀礼が行われた重要な建造物です)。平安時代の昔から今に至るまでの歴史を偲ぶ名品です。非公開。

太郎坊尊の大祭典ー千日大祭のご案内

千日大祭に参拝すれば、
千日間の参拝と同じご利益を得るー

こう言い伝えられる、
太郎坊宮・千日大祭。
「太郎坊尊の大祭典」
とも讃えられた千日大祭は、数百年の歴史を持つ祭礼です。

今年も古式にのっとり、諸願成就の大祈禱を執り行います。大祈禱では、皆様に太郎坊大神様の尊いご加護があるよう丁寧に祈りし、巫女による神楽の舞を特別に奏じます。
また、大祭期間中は境内のライトアップを実施。神秘的な空間を描き出します。心静かに、夜の太郎坊宮をお参り下さい。



千日大祭 大祈禱

七月二十日～二十一日

午前九時～午後四時まで（予約不要）
ご祈禱 三〇〇〇円より
ご祈禱者には、特別にお祈りした神札などをお授けします。



千日大祭 各種行事

七月二十日 献茶祭

滋賀県内外より献じられた新茶を太郎坊大神様にささげます。
一般向け無料お茶席あり。
（午後一時より午後四時）

七月二十一日 花火大会

夜空を花火が華麗に彩ります。
大正時代から知られた太郎坊宮の花火大会をお楽しみください。

千日大祭奉拝記念御朱印

千日大祭の祭日に参拝された方だけに
お授けする、
特別な御朱印です。
※数量限定



今後の祭事 ご案内

- 観月祭（九月二十四日）
- 拔穂祭（九月下旬）
- 秋季講社大祭および
功績者表彰式典（十一月一日）
- 一願成就社報恩祭（十一月三日）
- 新嘗祭（十一月二十四日）
- 献菊祭および
菊花展（十一月上旬）
- 七五三参り（十一月中）
- お火焚大祭（十二月一日）
- 大被式（十二月三十一日）



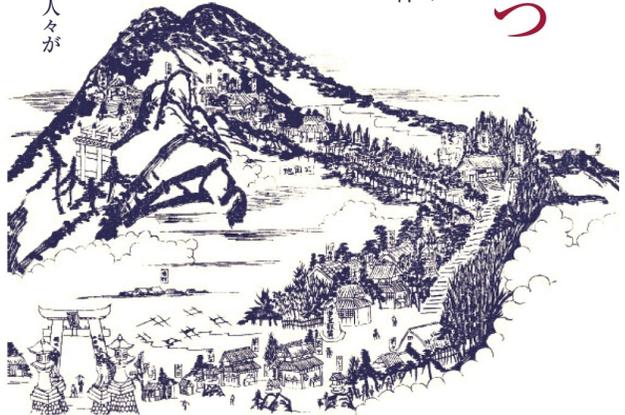
勝利と幸福を授ける神 太郎坊宮

ま わ れ か 正に吾は勝つ

【御祭神】

マサカアカツカチハヤヒアメノシホミニオオカミ
正哉吾勝勝速日天忍穗耳大神

太郎坊宮の神様のお名前には「まさに勝った、私は勝った。朝日が昇るように鮮やかに、速やかに勝利を得た」という意味があります。その尊い御神徳を仰ぐ人は古今教知れず。聖徳太子、伝教大師、源義経といった歴史上の偉人を始め、現在では各界の第一線で活躍される人々が太郎坊宮の加護を頂かれています。



勝利と幸福を授ける神
太郎坊宮
〒527-0091 滋賀県東近江市小脇町2247番地
TEL.0748-23-1341 FAX.0748-25-0787
<http://www.tarobo.sakura.ne.jp>



●境内に八幡宮が有るが別当寺と
別当寺(八幡宮)は、本宮(太郎坊宮)と
別当寺(八幡宮)は、別当寺(八幡宮)と
別当寺(八幡宮)は、別当寺(八幡宮)と
別当寺(八幡宮)は、別当寺(八幡宮)と
別当寺(八幡宮)は、別当寺(八幡宮)と